

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズわん うみ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 23名
○従業員評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 31日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないような工夫している	日々職員間や会社全体で新しいプログラムを考えたりし、子どもたちの楽しめる運動やレクを毎月定番イベントも入れながら考えて行っている	他でどんな事をやっているかどんな事ができるか常に模索し新しい事にもどんどんチャレンジしていきたい
2	室内の区切りが無く、活動スペースが広い 子どもたちが広々利用出来る	支援室の中でもサーキットトレーニングやパラバルーンなど事業所の中でも体を使ったプログラムを多く取り入れ体幹強化につながる支援をおこなっている。また自由時間なども干渉せずひとりひとりゆったりとしたスペースで遊ぶことができる	スペースの取り合いにならないような視覚的な配慮をすることでさらに心地よく活動ができる
3	朝礼、昼礼時や送迎後のミーティングにて職員間での意見交換や情報の共有が積極的に行われている	どんな小さな事からでも意見の言いやすい環境づくりをしている	ミーティングにて出た課題に対し職員がより専門的な知識や技術を学べる機会を設けより質の高い支援ができるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流が少ない	交流をしていく為に地域にどのような施設やサービスがあるのか把握しきれておらずまた日々の支援の中で交流の時間を確保する事が難しい	まずは相談支援などから日頃かかわりのある所などの交流の機会を増やしていき情報収集を行う
2	事業所までの経路が階段のみでバリアフリー化が難しい	事業所が二階にあり階段以外の手段がない	介助が必要な児童に対しては職員間での介助方法を共有し安全対策に努める
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キッズわん うみ

公表日 2026年3月1日

利用児童数 24

回収数 23

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	0	0	2	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	0	6	多ければ多いほどいいと思う 職員は常に基準以上の職員配置をしております
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	2	0	4	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	3	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1	0	1	かなり特性に寄り添っていている 特性への理解を深める為、日々話し合いや研修を行いより良い支援ができるように努めています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	0	0	1	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	0	0	1	理解してもらっていると感ず 児童一人一人に合わせた生活能力向上の為の支援を基本に作成・実行しております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	2	0	0	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	0	0	0	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1	0	1	色々なイベント本当に助かります 固定化されないよう季節を感じるイベントから日頃のレクも色々なものを取り入れていきたいと思ひます
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	3	13	よくわからない 希望しない 現状は交流等は行っておりません。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	0	1	0	かなり教えてもらいました ご不明な点がございましたらいつでもご相談ください
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	0	1	1	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	3	7	9	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	2	0	1	常日頃から様子を伝えてくれます 送迎時や電話LINEなどで状況や課題について説明させていただいておりますがご不明な点等がございましたらご相談下さい
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	3	3	1	常日頃から様子を伝えてくれます
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	0	0	1	共感され接してくれている
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	11	7	必要ではない
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2	2	6	かなり丁寧に迅速に対応してくれています
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	0	0	0	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	2	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	0	1	4	マニュアルがあるかどうか分からない	各マニュアル整備し事業所内にて定期的に研修をおこなっております
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	0	0	3		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	0	1	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	1	0	1	安心する対応をしてくれました 警報があった際はすぐに連絡があり安心できた	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0	大好きな場所です	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	0	0	0	毎日行きたがっています 子どもの興味に寄り添ってくれて毎回楽しんでいる	
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	0	0	0	ずっとお世話になりたいです	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズわん うみ		公表日 2026 年 3月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	6		事業所が二階にあり階段しかなくバリアフリー化されていない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	毎日清掃し汚れている所は都度清掃している	おもちゃの片づけが雑になってしまいどこにあるかが把握しづらい時がある為目印などをつくる
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		意見が少ない 意見を出しやすい環境をつくる
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	朝礼昼礼にて意見交換が行われている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	毎月ミーティングと研修の場が設けられている	研修の内容も常にアップデートしスキルアップできるよう研鑽に努める
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	職員がそれぞれ意見を出して検討できているので良い	できてはいるが課題に対し同じ熱量をもって実践に移していく
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1		運動プログラムが固定化しやすい もっと差別化できる機会を作っていく

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	集団、個別の活動を毎日一つずつ別々に準備し行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	当日の朝礼、昼礼にてその日のスケジュール、支援内容を確認している	自分の考えをもっと発信する姿勢が必要
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	申し送り帳に記入し周知している	全員がすぐに見れるわけではないので休み明けなどで情報がうまく伝達されていない時もある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	記録を徹底し話し合い改善につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	児童のお迎え時に共有している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	6		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	退所サマリーの作成、情報提供を行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	7		関わりを持ち新しい視点を生んでいく必要がある
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	8		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	7		送迎や面談時以外でも話し合える機会を積極的に設けていく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情対応記録を作成しミーティングをし再発防止に努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	事前に必ず共有している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	朝礼、昼礼時に共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	定期的に研修を行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0			